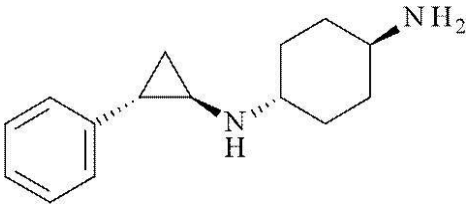
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

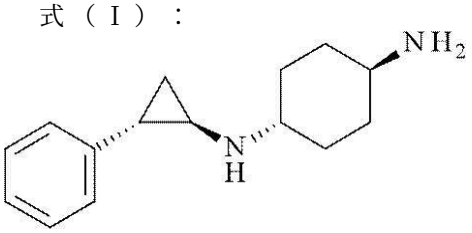
【公表番号】特表2019-508439(P2019-508439A)
【公表日】平成31年3月28日(2019.3.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-012
【出願番号】特願2018-548073(P2018-548073)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/203　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7068　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/52　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/167　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/505　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4406　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4045　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/706　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/44　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/404　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/496　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/65　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/704　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/36　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/17　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/12
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　31/203
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｋ　31/7068
Ａ６１Ｋ　31/52
Ａ６１Ｋ　31/167
Ａ６１Ｋ　31/505
Ａ６１Ｋ　31/4406
Ａ６１Ｋ　31/18
Ａ６１Ｋ　31/4045
Ａ６１Ｋ　31/706
Ａ６１Ｋ　31/5377

Ａ６１Ｋ　31/44
Ａ６１Ｋ　31/404
Ａ６１Ｋ　31/496
Ａ６１Ｋ　31/65
Ａ６１Ｋ　31/704
Ａ６１Ｋ　33/36
Ａ６１Ｋ　31/17
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１

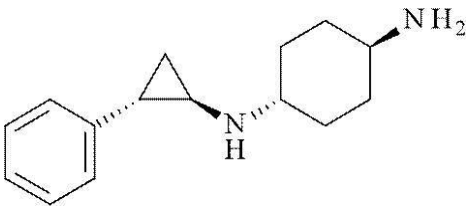
【手続補正書】
【提出日】令和2年3月13日(2020.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式（Ｉ）：



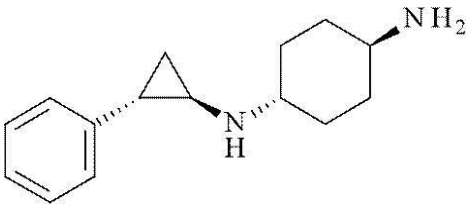
（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、レチノイン酸アナログ、ヌクレオシドアナログ、ＤＯＴ１Ｌ阻害剤、ＨＤＡＣ阻害剤、脱メチル化剤、ＦＬＴ３阻害剤、ＢＣＬ２阻害剤、ＭＤＭ２阻害剤、ｃ－ＫＩＴ阻害剤、ＢＥＴ阻害剤、三酸化ヒ素、ヒドロキシ尿素、及び薬学的に許容されるそれらの塩から選択される１つ以上の治療剤とを含む組合せ。
【請求項２】
式（Ｉ）：



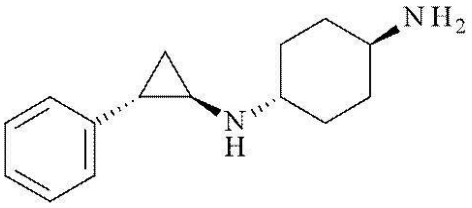
（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、トレチノイン、シタラビン、ピノメトスタット、ボリノスタット、リコリノスタット、エンチノスタット、デシタビン、アザシチジン、キザルチニブ、ＡＢＴ－７３７、ヌトリン－３Ａ、ダサチニブ、ＪＱ１、三酸化ヒ素、ヒドロキシ尿素、及び薬学的に許容されるそれらの塩から選択される１つ以上の治療剤とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項３】
式（Ｉ）：



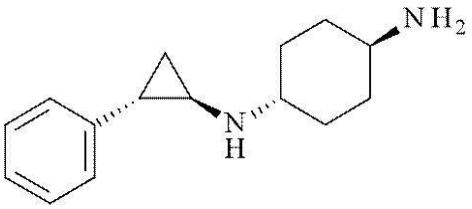
（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、レチノイン酸アナログ又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項４】
レチノイン酸アナログが、トレチノイン又は薬学的に許容されるその塩である、請求項３に記載の組合せ。
【請求項５】
式（Ｉ）：



（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ヌクレオシドアナログ又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項６】
ヌクレオシドアナログが、シタラビン又は薬学的に許容されるその塩である、請求項５に記載の組合せ。
【請求項７】
式（Ｉ）：

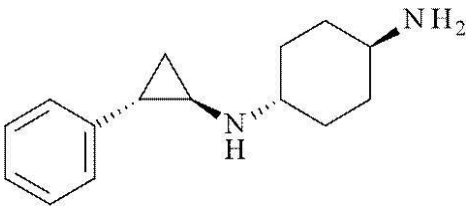


（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ＤＯＴ１Ｌ阻害剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項８】
ＤＯＴ１Ｌ阻害剤が、ピノメトスタット、ＥＰＺ－００４７７７若しくはＳＧＣ－０９４６、又は薬学的に許容されるそれらの塩である、請求項７に記載の組合せ。
【請求項９】
式（Ｉ）：

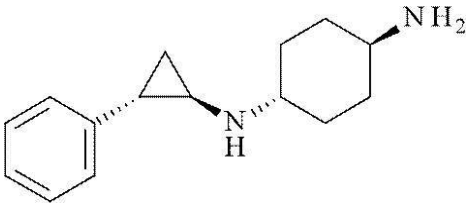


（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ＨＤＡＣ阻害剤又は薬学的に許容されるその

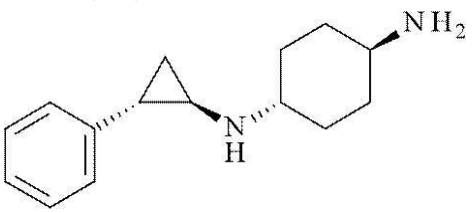
塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項１０】
ＨＤＡＣ阻害剤が、ベリノスタット、パノビノスタット、ボリノスタット、リコリノスタット、エンチノスタット、モセチノスタット、アベキシノスタット、レスミノスタット、ギビノスタット、キシノスタット、又は薬学的に許容されるそれらの塩である、請求項９に記載の組合せ。
【請求項１１】
式（Ｉ）：



（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、脱メチル化剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項１２】
脱メチル化剤が、デシタビン若しくはアザシチジン、又は薬学的に許容されるその塩である、請求項１１に記載の組合せ。
【請求項１３】
脱メチル化剤が、アザシチジン又は薬学的に許容されるその塩である、請求項１１に記載の組合せ。
【請求項１４】
式（Ｉ）：

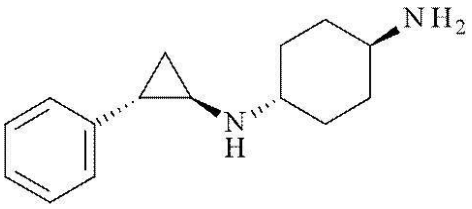


（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ＦＬＴ３阻害剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項１５】
ＦＬＴ３阻害剤が、キザルチニブ、ソラフェニブ、スニチニブ、及びレスタウルチニブ、又は薬学的に許容されるそれらの塩である、請求項１４に記載の組合せ。
【請求項１６】
式（Ｉ）：

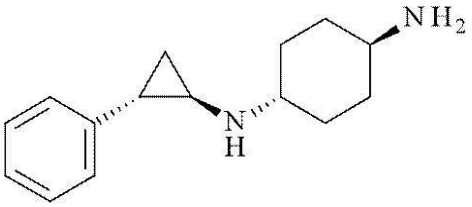


（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ＢＣＬ２阻害剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項１７】
ＢＣＬ２阻害剤が、ＡＢＴ－７３７、ナビトクラックス、ベネトクラックス、オバトク

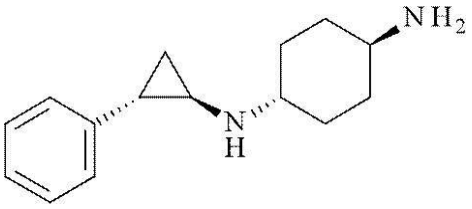
ラックス、又は薬学的に許容されるそれらの塩である、請求項１６に記載の組合せ。
【請求項１８】
式（Ｉ）：



（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ＭＤＭ２阻害剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項１９】
ＭＤＭ２阻害剤が、ヌトリン－３Ａ又は薬学的に許容されるその塩である、請求項１８に記載の組合せ。
【請求項２０】
式（Ｉ）：



（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ｃ－ＫＩＴ阻害剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項２１】
ｃ－ＫＩＴ阻害剤が、ダサチニブ若しくはイマチニブ、又は薬学的に許容されるその塩である、請求項２０に記載の組合せ。
【請求項２２】
式（Ｉ）：



（Ｉ）
の化合物又は薬学的に許容されるその塩と、ＢＥＴ阻害剤又は薬学的に許容されるその塩とを含む、請求項１に記載の組合せ。
【請求項２３】
ＢＥＴ阻害剤が、ＪＱ１、ＧＳＫ１２１０１５１Ａ、ＭＳ４３６、ＧＳＫ５２５７６２、ＯＴＸ－０１５、ＣＰＩ－２０３、ＧＳＫ１３２４７２６Ａ、又は薬学的に許容されるそれらの塩である、請求項２２に記載の組合せ。
【請求項２４】
請求項１から２３のいずれか一項に記載の組合せと、１つ以上の薬学的に許容される添加剤とを含む、医薬組成物。
【請求項２５】
造血器悪性腫瘍の治療に有用である、請求項１から２３のいずれか一項に記載の組合せを含む製品。

【請求項２６】
治療活性物質としての使用のための、請求項１から２３のいずれか一項に記載の組合せ。
【請求項２７】
造血器悪性腫瘍の治療における使用のための、請求項１から２３のいずれか一項に記載の組合せと１つ以上の薬学的に許容される添加剤とを含む薬学的組成物。
【請求項２８】
造血器悪性腫瘍の治療における使用のための、請求項１から２３のいずれか一項に記載の組合せを含む医薬。
【請求項２９】
同時のレジメンとしての組合せの投与のためのものである、請求項２８に記載の医薬。
【請求項３０】
逐次のレジメンとしての組合せの投与のためのものである、請求項２８に記載の医薬。
【請求項３１】
造血器悪性腫瘍の治療のための医薬の調製のための、請求項１から２３のいずれか一項に記載の組合せの使用。
【請求項３２】
医薬が、同時のレジメンとしての組合せの投与のためのものである、請求項３１に記載の使用。
【請求項３３】
医薬が、順次のレジメンとしての組合せの投与のためのものである、請求項３１に記載の使用。
【請求項３４】
造血器悪性腫瘍が骨髄性の造血器悪性腫瘍である、請求項２５に記載の製品、請求項２７に記載の薬学的組成物、請求項２８から３０のいずれか一項に記載の医薬、又は請求項３１から３３のいずれか一項に記載の使用。
【請求項３５】
骨髄性の造血器悪性腫瘍が急性骨髄性白血病である、請求項３４に記載の製品、請求項３４に記載の薬学的組成物、請求項３４に記載の医薬、又は請求項３４に記載の使用。
【請求項３６】
骨髄性の造血器悪性腫瘍が慢性骨髄性白血病である、請求項３４に記載の製品、請求項３４に記載の薬学的組成物、請求項３４に記載の医薬、又は請求項３４に記載の使用。
【請求項３７】
骨髄性の造血器悪性腫瘍が骨髄異形成症候群である、請求項３４に記載の製品、請求項３４に記載の薬学的組成物、請求項３４に記載の医薬、又は請求項３４に記載の使用。
【請求項３８】
骨髄性の造血器悪性腫瘍が骨髄増殖性疾患である、請求項３４に記載の製品、請求項３４に記載の薬学的組成物、請求項３４に記載の医薬、又は請求項３４に記載の使用。
【請求項３９】
骨髄増殖性疾患が、骨髄線維症、急性混合性白血病、真性多血症、慢性好酸球性白血病／好酸球増加症候群、本態性血小板血症、及び慢性好酸球性白血病／好酸球増加症候群からなる群から選択される、請求項３４に記載の製品、請求項３４に記載の薬学的組成物、請求項３４に記載の医薬、又は請求項３４に記載の使用。
【請求項４０】
骨髄性の造血器悪性腫瘍が、ＭＬＬ、ＡＦ９、ＡＦ４、ＡＦ１０、ＡＭＬ１、ＥＴＯ、ＣＡＬＭに関する転座又は再構成；又はＮＰＭ１若しくはＮｏｔｃｈ１における変異、又はＬＳＤ１過剰発現を有する骨髄性の造血器悪性腫瘍である、請求項３４に記載の製品、請求項３４に記載の薬学的組成物、請求項３４に記載の医薬、又は請求項３４に記載の使用。
【請求項４１】

造血器悪性腫瘍がリンパ性の造血器悪性腫瘍である、請求項２５に記載の製品、請求項２７に記載の薬学的組成物、請求項２８から３０のいずれか一項に記載の医薬、又は請求項３１から３３のいずれか一項に記載の使用。

【請求項４２】

リンパ性の造血器悪性腫瘍が急性リンパ芽球性白血病である、請求項４１に記載の製品、請求項４１に記載の薬学的組成物、請求項４１に記載の医薬、又は請求項４１に記載の使用。

【請求項４３】

リンパ性の造血器悪性腫瘍が、ＭＬＬ、ＡＦ９、ＡＦ４、ＡＦ１０、ＡＭＬ１、ＥＴＯ、ＣＡＬＭに関する転座又は再構成；又はＮＰＭ１若しくはＮｏｔｃｈ１における変異、又はＬＳＤ１過剰発現を有するリンパ性の造血器悪性腫瘍である、請求項４１に記載の製品、請求項４１に記載の薬学的組成物、請求項４１に記載の医薬、又は請求項４１に記載の使用。